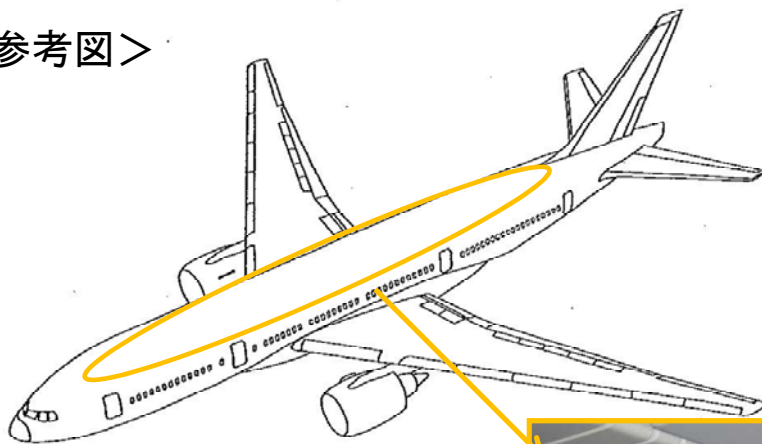


全日本空輸株式会社のボーイング式777型機の
乗客用酸素マスクに関する不具合について(概要)

1. 11月24日に全日本空輸(株)が行ったボーイング式777型1機の重整備後の試験飛行において乗客用酸素マスクの落下試験をサンプリング検査したところ、チューブが絡まって乗客の手の届かない状態で止まってしまい、適正に落下しない事例が発生。
2. 同社が当該機の全ての酸素マスクについて調べたところ、中央座席の酸素マスクに同社で指示する方法と異なる不適切な収納が行われていたこと、不適切な収納の結果、酸素マスクのチューブが絡まり適正に落下しなかったこと及び当該不適切な収納作業が2008年6月～7月に海外の委託先整備業者においておこなわれた可能性が高いことが判明。
3. 同社では、当該海外の委託先整備事業者が乗客用酸素マスクの収納作業を実施したB777について、不適切な取り付け状態にある可能性が高いことから、26日から28日にかけて早急に該当する機体7機の客室酸素マスクの点検を実施。このうち3機に不具合があったことを確認。
また、不具合のあったものについては直ちに是正措置を実施。
4. なお、日本航空(JAL)においても、同じ海外整備事業者に同種作業の委託を行っているが、全く異なる工場及び人員により作業を実施している等、管理が異なっていることから、同様の問題はない。

5. また、B777以外の機種の航空機については、その構造等が大きく異なるため、同種不具合は発生しない。

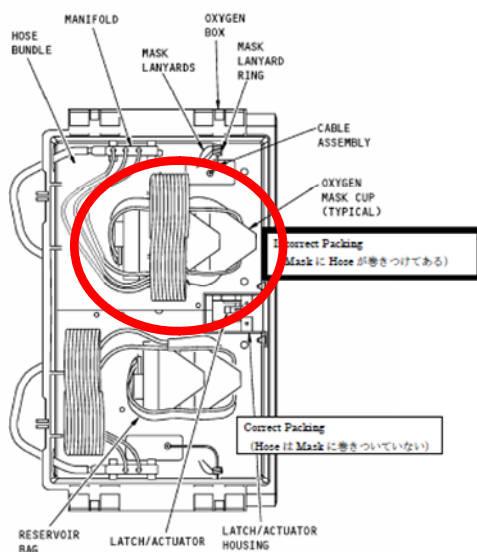
<参考図>



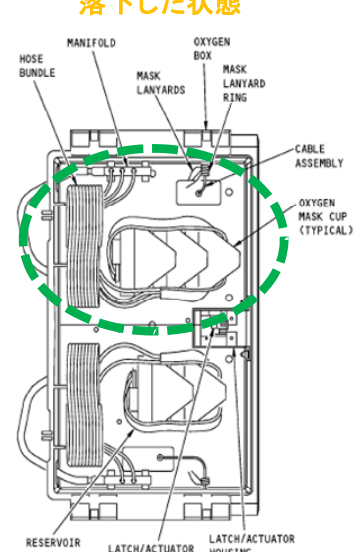
適切に落下しなかった状態



落下した状態



不適切な収納の例



適切に収納された例